

一般国道21号

ぎだい
岐大バイパス
(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局
岐阜国道事務所

目 次

1. 一般国道21号岐大バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
①交通渋滞の緩和	P 3
②交通安全の確保	P 3
③ストック効果事例:西濃地域の産業支援	P 4
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

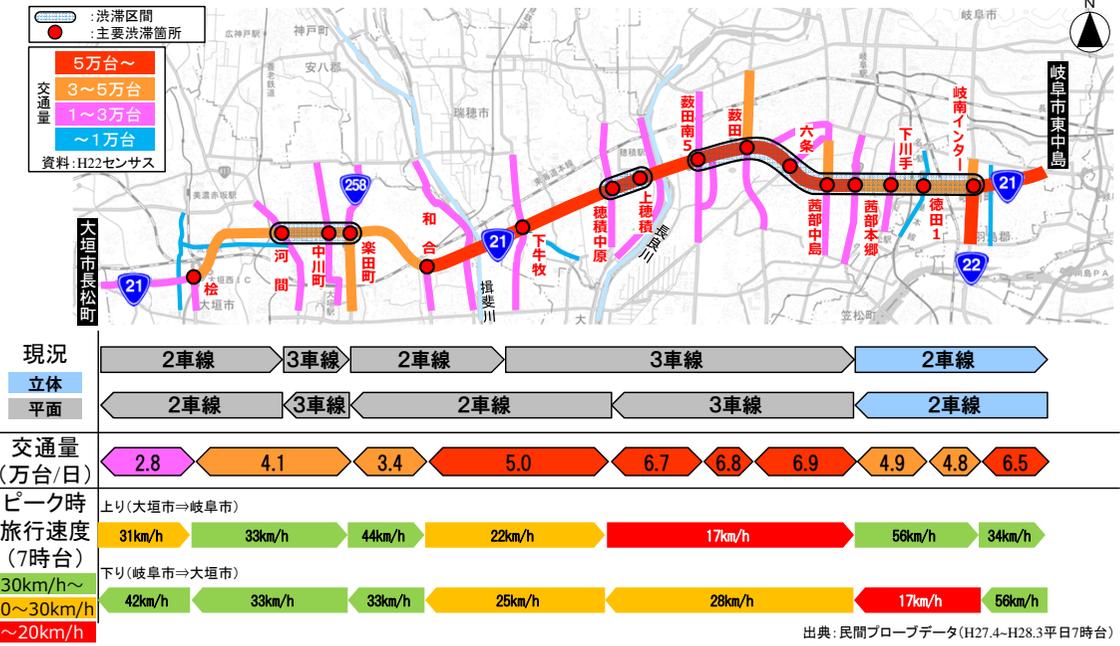
1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- 岐大バイパスには、主要渋滞箇所が3区間(13箇所)及び単独3箇所、計16箇所あります。
- 上り線のピーク時旅行速度は、茜部本郷交差点を先頭に穂積中原交差点まで20km/hを下回っています。
- 下り線のピーク時旅行速度は、茜部本郷交差点を先頭に岐南インターまで20km/hを下回っています。

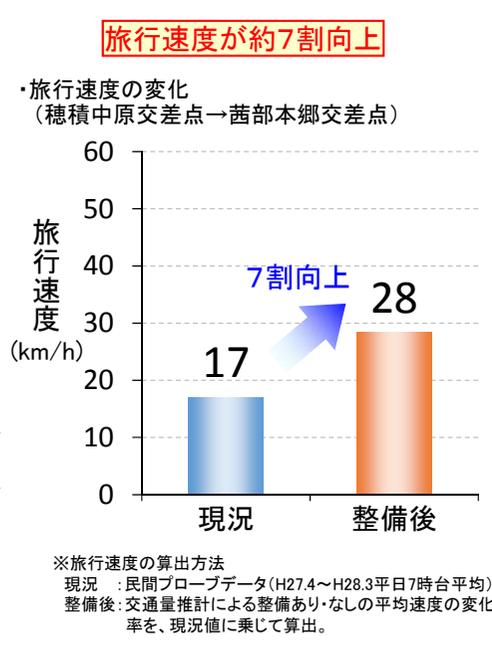
2) 事業の投資効果

■ 茜部本郷～穂積中原交差点間では、旅行速度が約7割向上し、混雑緩和が図られます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



②交通安全の確保

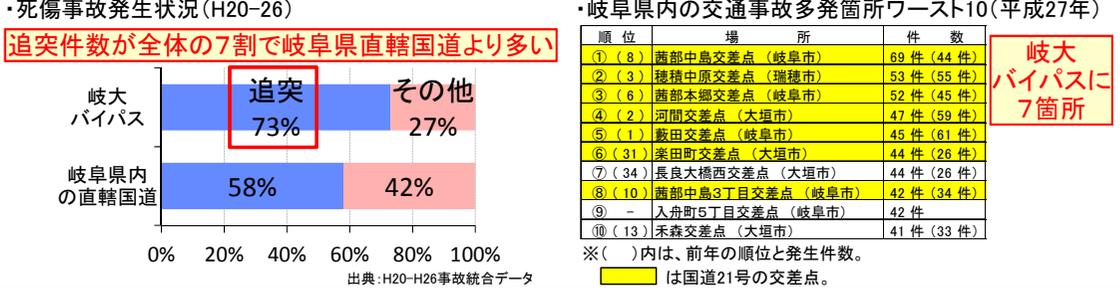
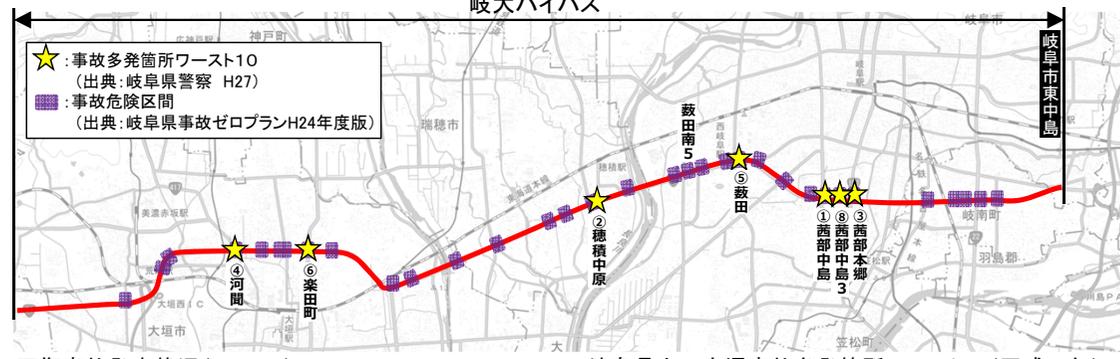
1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- 岐大バイパスには、岐阜県内の事故多発箇所ワースト10が7箇所存在しており、事故危険区間も連続しています。
- 岐大バイパスにおける死傷事故の7割は渋滞が原因と考えられる追突事故で、岐阜県内の直轄国道より高い傾向にあります。

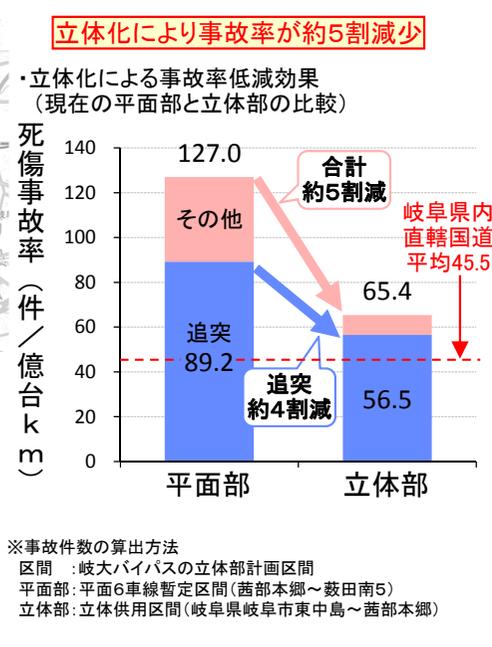
2) 事業の投資効果

■ 立体化や6車線化により混雑が緩和され、追突事故の減少が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



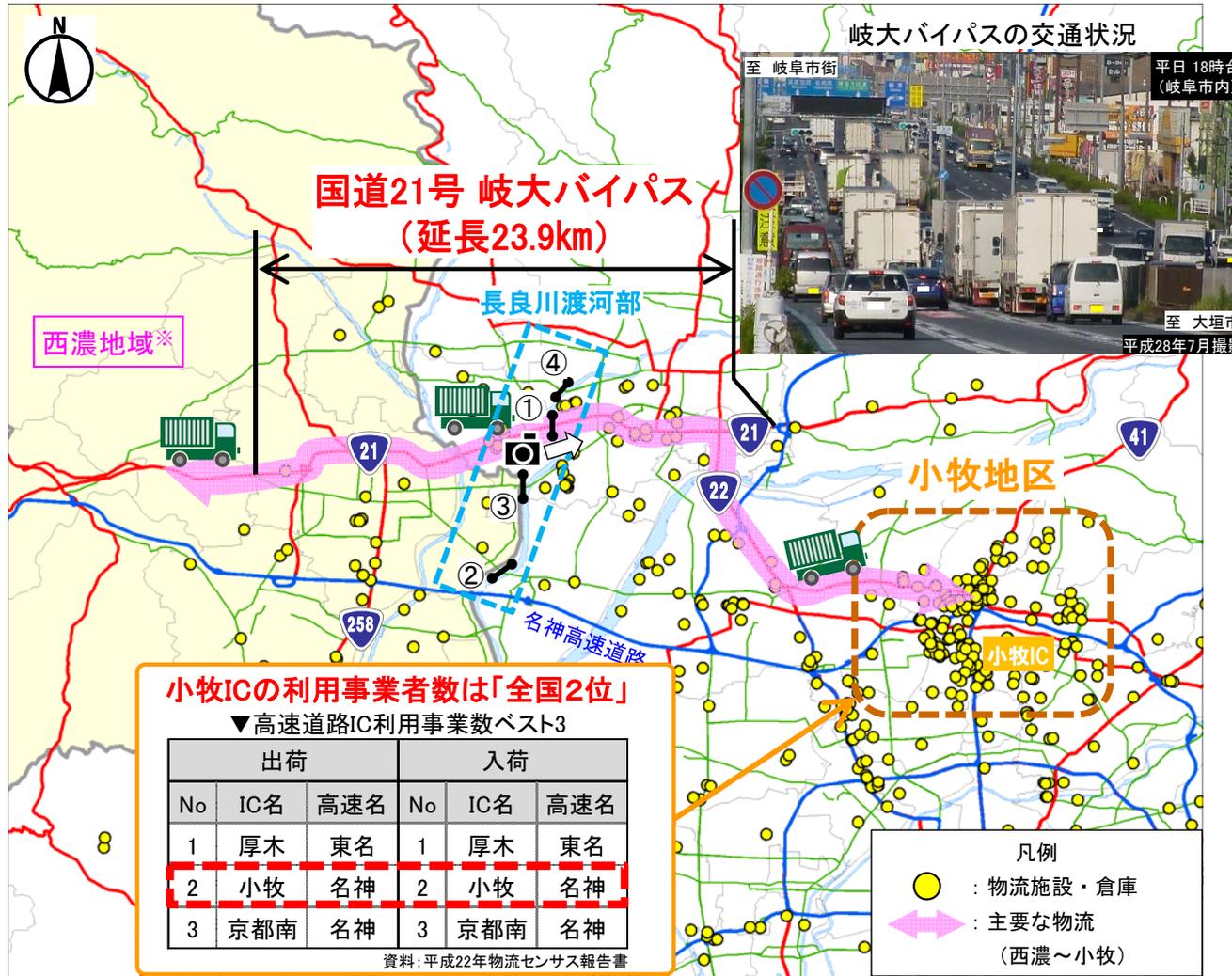
2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

③ストック効果事例：西濃地域の産業支援

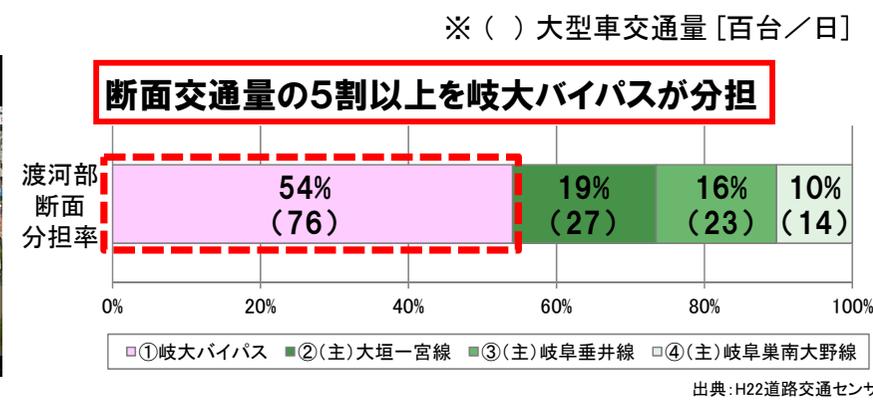
■岐大バイパスは、岐阜県の東西交通の要であり、交通が集中する長良川渡河部において、大型車交通量の5割以上を分担しています。

■西濃地域と小牧地区（中京圏の物流拠点）間の物流量は、10年間で1.3倍に増加、1事業者当たりの製造品出荷額等も1.3倍に増加しており、岐大バイパスの整備により更なる西濃地域の産業支援が期待されます。

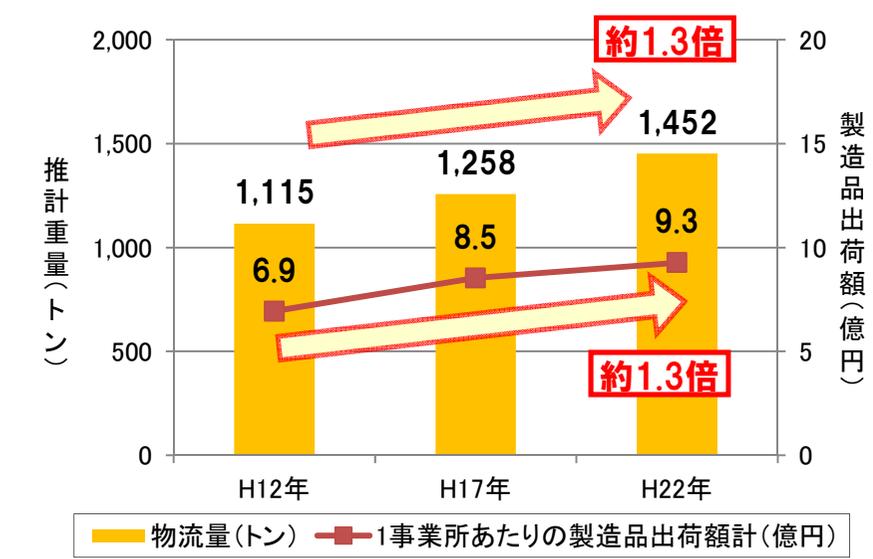
■西濃地域と小牧地区を結ぶ岐大バイパス



■長良川渡河部の大型車交通量



■西濃地域における物流量の増加と産業発展



出典：中部運輸局資料

出典：平成22年物流センサス3日間調査
※西濃地域：大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町

3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

■事業進捗率は46%、用地取得率は100%に至っています。(平成27年度末)

■(参考) 前回再評価時 : 事業進捗率は46%、用地取得率は100%(平成24年度末)

2) 事業の進捗の見込み状況

■岐阜県岐阜市東中島から岐阜県大垣市長松町(延長23.9km)は、周辺道路の整備状況や関係機関との調整状況を踏まえつつ、整備を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■岐阜県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

5. 対応方針(原案)

■一般国道21号岐大バイパスの事業を継続する。